

道 徳

1 重点目標を明確にした全体計画と各教科等との関連を考慮した指導計画の改善

- 道徳教育の重点目標や各学年の指導の重点を明確にした全体計画を作成する。
- 各教科等における道徳教育に関わる全体計画の別葉を作成し、活用を図る。
- 年間指導計画は、各時間の指導の概要が分かるように工夫し、学級の指導計画は、子どもの実態をもとに精選した内容となるように工夫する。

2 実効ある指導体制づくりと道徳の時間の指導方法の工夫

- 保護者や地域の人々の参加や協力を得るとともに、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を確立し、学校全体の授業力を高めるようにする。
- ◎ **問題解決的な学習や体験的な活動など、多様な指導方法の工夫を通して、子どもの心に響く多様な授業展開を工夫する。**
- 魅力的な資料や教具の開発を行うとともに、「ふくしま道徳教育資料集」の積極的かつ実態に応じた柔軟な活用を図る。
- 評価に当たってはよい点や成長の状況などを積極的に認め、勇気づけるとともに、指導計画や指導方法の改善に生かす。

3 開かれた道徳教育の推進

- 「道徳の時間」の授業の公開等を積極的に実施し、学校間や異校種間の連携を強化する。
- 保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、双方向の連携の工夫をする。

※は参考資料等

道徳の時間の充実のために

道徳の時間の指導方法の工夫

- ◎ **問題解決的な学習や体験的な活動など、多様な指導方法の工夫を通して、子どもの心に響く多様な授業展開を工夫する。**

【問題解決的な学習のねらいとは？】

道徳の時間における問題解決的な学習とは、子ども一人一人が生きる上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。

【問題解決的な学習の指導上の留意点は？】

- ・ 多面的・多角的な思考を促す「問い」が設定されているか。
- ・ 上記「問い」の設定を可能とする教材が選択されているか。
- ・ 議論し、探究するプロセスが重視されているか。

【問題解決的な道徳の時間を構想するには？】（授業展開を構想する上での一例）

①道徳的価値の想起

- ・ 個人的な経験や具体的な事例から道徳的価値を考える。

【教師の主な発問】

「ここでは何が問題になっていますか」

「何と何で迷っていますか」

②道徳的な問題の状況の分析

- ・ 資料を読んで、道徳的な問題の状況を分析する。

③複数の解決策の構想

- ・ 問題場面に対し、様々な解決策を構想する。

「主人公はどうしたらよいただろう」

「自分ならどうしただろう」

④シミュレーション

- ・ 考えた解決策を身近な問題に適用し、自分の考えを再考する。

⑤まとめ

- ・ 今後の生活でどのように生かせるかを問い、価値の内面化から道徳的実践へと促す。

※ 「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について【別紙1】

（平成28年7月22日 道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議より）